

乗鞍岳山スキー報告

【山城】北アルプス・乗鞍岳

【日程と天気】2020年2月11日(火)晴れ

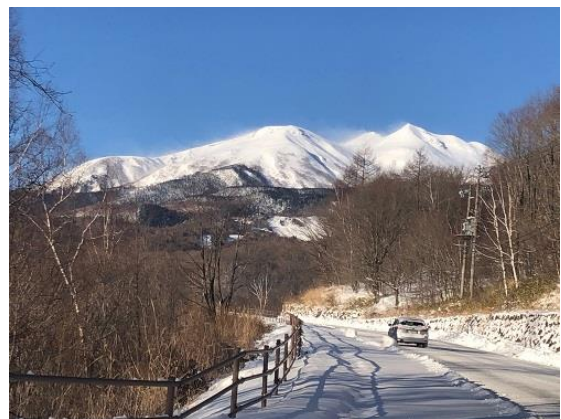
【メンバー】CL 菊池・SL 石橋・坂倉・加藤・瀧瀬・高山・武田・飯郷(会員外)

【行程】

千葉ー乗鞍高原スキー場・やまぼうし駐車場ーリフトトップーツアールートー位ヶ原・標高 2500mー往路を滑走ーゲレンデ滑走ー駐車場ー帰葉



・小生にとって厳冬期の乗鞍ツアールートは2回目である。最初は山スキーを始めて数年目、テレマーク細板・革靴で23年ほど前に位ヶ原の台地までハイクアップした思い出が蘇る。その後は5月~6月に毎年のように山頂から残雪期ザラメツアーを楽しんでいる。今期は雪不足で標高の高い乗鞍岳は人気でヤマレコなどに厳冬期の報告が多く、我々も絶好のツアー日和の建



国記念日 2/11 に訪れた。道路には前日からの降雪が除雪されているが、スリップに注意しながらやまぼうし駐車場に向かった。早くも乗鞍ブルーの下、真白な山頂が望め、テンションがうなぎのぼりである。

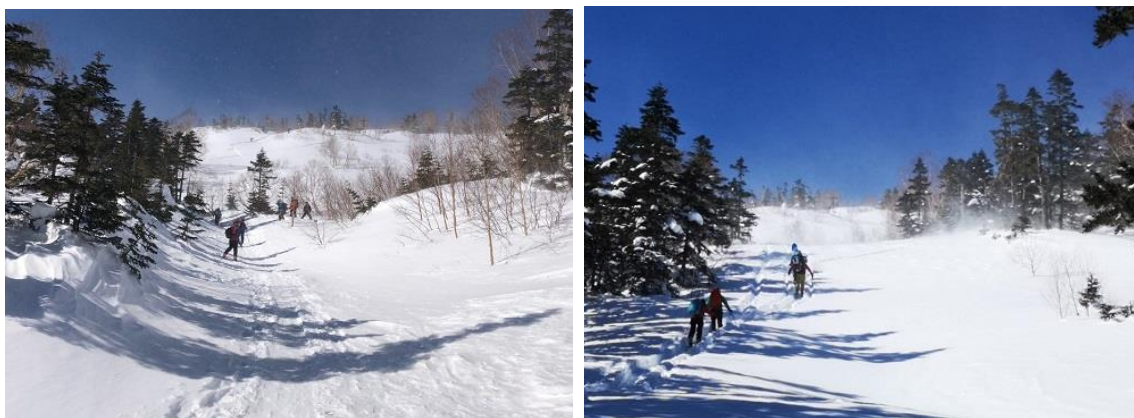
- 整備されたゲレンデを少し滑り、リフトを3本乗り継ぐ前に1回目の集合写真撮影です。リフトトップは既に標高 1970m、そこから切り開きツアールートのシール登行が始まる。新雪は想像以上に多く、30~50 cmはある。ツアールートの入り口の急斜面はいつも核心部となります。我々は楽な右の林の中をシール登高しました。やはり左のオープン急斜面はガリがあり苦勞したとのことです。



第一関門の上は快適な緩斜面ルートです。気温が低いため雪質が良いのですがかなり深いパウダーです。緩斜面ではターンに苦勞しそうです。登りは先行トレースを辿りルンルン気分です。高いシラビソ林のため、初めは上部の展望はありませんでしたが、山頂方面の視界が開けてきてテンションは上がります。



やがて位ヶ原の手前の急斜面が近づいてきました。早くも上部から滑走してくる P もいます。風が強くなってきて雪煙が発生しています。滑走してきた若者に聞くと美味しそうなオープン斜面ですがウィンドバックされて難儀したとのこと。



かなりの急斜面となってきました。わが P は高齢者と女性が多いため、急斜面の前でクローを装着したメンバーも多いです。最後の急なトラバースです。下地が固い部分もありやや緊張します。この辺が最も急でウィンドバック状態が強く滑走時は要注意と考えながら進んだ。



急斜面を登りきると位ヶ原の台地です。高天原と乗鞍山頂をバックに強烈なシュカブラの芸術です。素晴らしい!!! ゆうに10mは超える強風が吹き荒れています。なんとか穂高連峰が見えるところまでと考え頑張ります。残雪期にザラメ滑走を楽しむ蚕玉岳からの急斜面が正面に見えます。穂高連峰を望むべく、右方向に進みます。メンバーが後続します。そしてついに穂高



連峰がドーンと迎えてくれました。2500m 位まで登り上げ穂高連峰を欲しいままにできました。



片方の板を外した直後、深雪に足をとられて転倒した〇山さんと、ちば山山スキーツアー初参加の〇田さんがはしゃいでいます。厳冬期、北アルプスの森林限界を超えた 2500m 地点まで到達できた喜びは一生忘れませんね。乗鞍ブルーの下、穂高連峰の雄姿をバックに素晴らしい集合記念撮影です。今回の最大の目的は達成できました。



・さあ、不安と期待のロング滑走です。最後の集合記念を行いいよいよツアールートへの滑走です。ウィンドバックされた斜面を慎重に滑走します。



どうにもならない急斜面の深いウインドバックエリアはターンできず斜滑降などで慎重に高度を下げ、少しずつターンできる状況になってきました。○田さんのテレターンです。絶好調の SA 君も果敢に攻め始めました。



この辺はターンし易いエリアで、小生も気持ち良いテレターンを刻めました。メンバー全



員、急斜面を何とかクリアーし雪質の良い中斜面・緩斜面ツアールートへの滑走になります。雪質は良いとはいえ、すでにギタギタになったルートです。最後尾から少しでもノートラを選びコースの端を滑走しましたが、深みにはまり頭から前のめりに転倒、危うく窒息状態となりそうで



したが、顔面の雪を払いのけ、苦
労して立ち上がりました。皆さ
んの前まで行くと、雪にまみれ
たこの顔を見て大笑いでした。
最後の日陰になる急斜面の核心
部、ガリエリアもあるため、自
信のないメンバーは安全策を取
り林間をツボ足下降しました。滑
走組は無難に滑走していました。



高速に乗る前、人気の「十字路」にご案内、美味しい洋食に皆さん大喜びでした。大満足
の一日でした。